

平成21年度下半期中札内村の財政事情

公表の目的

中札内村は財政運営の透明性や情報共有を目的に、条例により1年に2回、財政事情の公表を義務付けしています。

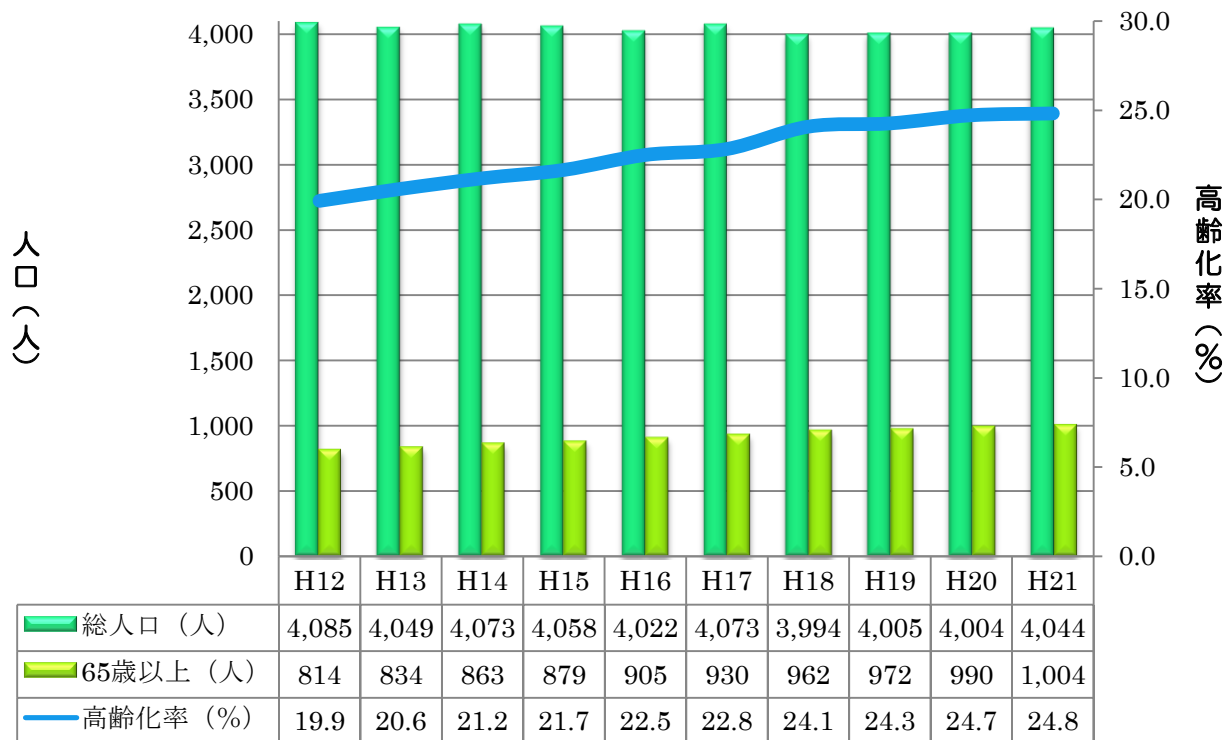
今まで、役場前の掲示板でのみ公表していた財政事情ですが、住民のみなさんやふるさと応援寄附金をお寄せいただいているみなさんに村の財政事情を知っていただくため、ホームページでの公表を始めました。

公表の内容

今回の公表は、平成21年10月1日から平成22年3月31日までの、平成21年度下半期における中札内村の財政事情を公表します。

公表の内容は、「1 村の人口」「2 歳入・歳出予算の執行状況」「3 村有財産」「4 基金」「5 地方債」「6 村税の賦課・徴収状況」です。

1 村の人口



グラフは、過去10年間の村の総人口と65歳以上の人口の推移です。総人口は増減を繰り返し、平成21年度末では微増となりました。

また、65歳以上の人口はゆるやかな右肩上がりとなっており、初めて1,000人を超えました。今や村民の4人に1人が65歳以上ということになります。ちなみに日本全国の65歳以上の割合は23.0%（22年4月1日現在総務省人口推計月報による）となっており、近い数値となっています。



2 歳入・歳出予算の執行状況

平成21年度下半期各会計予算の執行状況総括表

単位（千円）

会 計	歳 入		歳 出	
	予 算 額	収入済額	予 算 額	支出済額
一般会計	5,075,491	4,967,087	5,075,491	4,642,314
国民健康保険特別会計	536,272	507,160	536,272	471,717
老人保健特別会計	5,927	5,918	5,927	5,468
介護保険特別会計	195,041	182,351	195,041	174,077
後期高齢者医療特別会計	45,426	45,939	45,426	43,405
簡易水道事業特別会計	129,640	124,221	129,640	123,968
公共下水道事業特別会計	143,836	143,748	143,836	140,469

（平成22年3月末現在）

※一般会計の歳入・歳出予算額には繰越明許費を含む。

繰越明許費…歳出予算のうち、特別な事情により年度内に支出が終らないものについては、議会の議決を得て翌年度へ繰り越すことができる。

平成20年度から平成21年度へ繰り越した分	1,063,218千円
平成21年度から平成22年度へ繰り越す分	85,534千円

会計年度は単年度が原則ですが、一般会計の予算には平成22年度へ繰り越す繰越明許費が含まれており、その予算は22年度において執行します。

また残りの予算は、現金の未収未払いの整理を行う出納整理期間（4月1日～5月31日）において執行します。

3 村有財産

区 分	現 在 高	備 考
土 地	22,731,686.77㎡	前年度比△6,022.29㎡
建 物	122,478.55㎡	前年度比+576.89㎡
山 林	12,855,958.22㎡	増減なし
物 件	700千円	中札内フェーリエンドルフ会員権
有 価 証 券	70千円	株券

(平成22年3月末)

土地…宅地分譲地10件(めぐみ1件、ときわ野9件)等売り払ったことにより、土地が減少しました。

建物…札内団地(4棟18戸)を取り壊したことによる減少があった一方、地域振興住宅(2棟8戸)、鉄道公園団地(2棟8戸)、道の駅屋外トイレを建築したことにより面積が増加しました。

村有財産の一部



公民館



中札内保育所



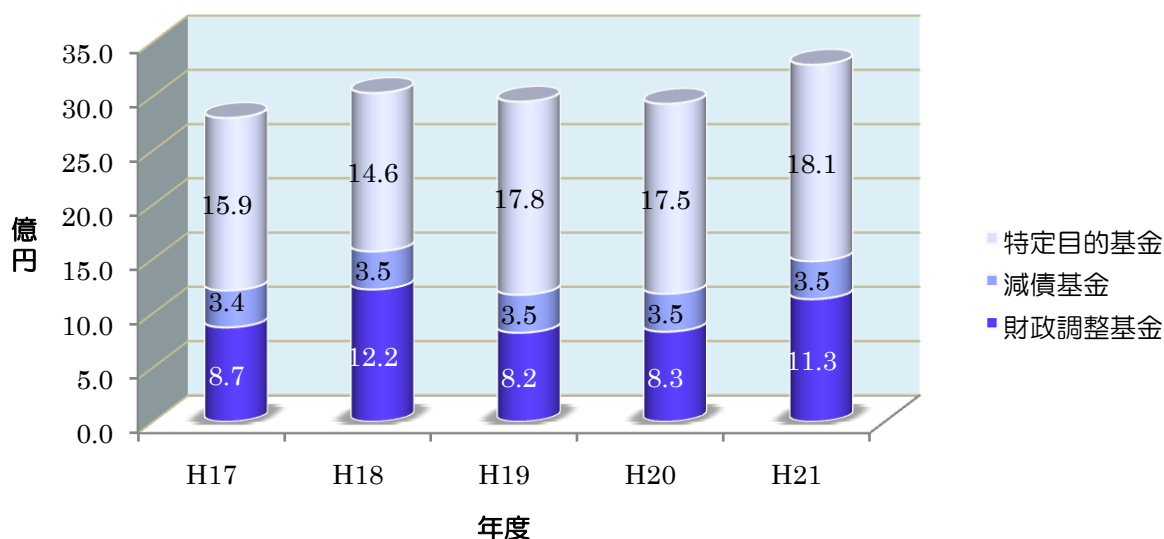
鉄道公園団地



ときわ野(宅地分譲地)

4 村の基金の状況

一般会計基金	平成22年3月末現在高	目的
財政調整基金	11億2,913万円	年度間の財源の不均衡を解消するための基金で、財源不足の穴埋めや災害、緊急に必要なとなった公共事業などに充てられます。
減債基金	3億5,207万円	地方債(村の借金)の返済に充てられます。
特定目的基金	18億591万円	中札内村には9つの種類の基金があり、公共施設、行事、環境、福祉、農業、商業、教育、文化、スポーツなどに充てられます。



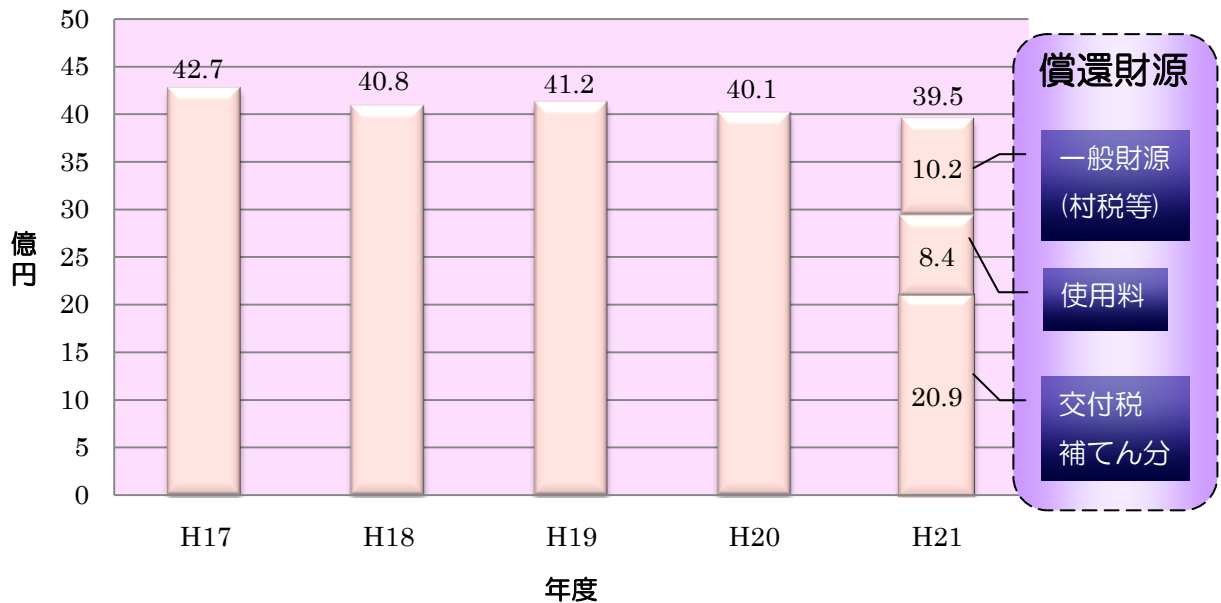
基金とは貯金のことをいいます。毎年主に基金の利子や寄附金、将来の公共事業に備えた積み立てをしています。

特定目的基金の主な積み立ては、平成22年度の道営担い手畑総事業や新・元気な畑づくりなどの事業に充てるため、食と農業農村振興基金へ積み立てをしました。

主な取り崩しは公共施設等整備基金を取り崩し、地域振興住宅の建設や、道の駅の駐車場整備へ充当しました。

また、財政調整基金においては、平成21年度の法人村民税の大幅増に伴い、平成22年度の普通交付税の減少を見込んでいることから、約3億円の積み立てをしました。

5 村の地方債残高の状況



平成21年度末の一般会計における地方債の残高は約39億5千万円で、借入額より返済額のほうが多かったため前年度より減少しました。

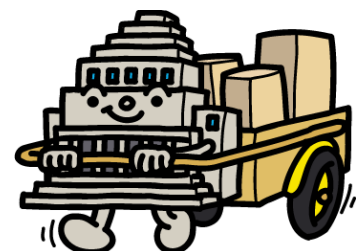
平成21年度は次の借り入れをしました。

- ・ 「ヴィレッジときわ野」第2次分譲地の整備のために330万円
- ・ 公営住宅の建築・改修・設計委託のために9,050万円
- ・ 「ヴィレッジときわ野」第2次分譲地の道路整備のために3,490万円
- ・ 地方交付税の減額を補うために1億7,990万円

今後の返済の財源内訳は、公営住宅使用料や牧場使用料が8.4億円、交付税による国の補てんが20.9億円、残り10.2億円は村税等の一般財源となる見通しです。

地方債を借り入れることにより、その年の収入では賅いきれない事業費の財源を確保できたり、長期にわたって利用する施設などを、次年度以降の世代の住民で公正に負担することができます。また、返済額の一部を国が補てんする地方債もあります。

今後の財政状況を予測し、利率の低い地方債を借り入れたり計画的な返済をしたりし、後年度の償還負担をできるだけ少なくしています。



6 村税の賦課・徴収状況

税目	税の決定額（調定額）	3月末現在収入額	徴収率	前年同期徴収率
村民税 個人	1億8,805万円	1億7,815万円	94.7%	96.1%
村民税 法人	3億1,191万円	3億1,191万円	100.0%	100.0%
固定資産税	2億9,015万円	2億7,195万円	93.7%	93.9%
軽自動車税	794万円	776万円	97.7%	97.6%
たばこ税	2,764万円	2,558万円	92.5%	100.0%
国民健康保険税	1億2,332万円	1億1,769万円	95.4%	92.9%

各村税は調定に対する収入がほぼ終わっており、出納整理期間のうちに残りの未収入の税を徴収します。

村税は村の貴重な財源です。住民のみなさんの要望にお応えし、安定した財政を運営するためにも、税を納期眼までに納入していただくようご理解とご協力をお願いします。

